

## 地域トピックス

### ◆新鮮野菜で交通安全(小友町)

交通安全協会小友分会(及川喜代二会長)と同協会小友町母の会(谷藤佳代子会長)は8月6日、荷沢峠付近で行楽地などから家路に向かうドライバーに安全運転を呼び掛ける活動を行いました。

安全運転を啓発するチラシとともに、新鮮な野菜を渡すことから「野菜サービス作戦」と命名。受け取ったドライバーは思わぬ贈り物に「安全運転します」と笑顔で応え、再び気持ちを締め家路に向かいました。



安全運転の呼び掛けに笑顔で応えるドライバー

### ◆お年寄りとの交流を深める(青笹町)

青笹保育園・児童館の子どもたちと、地域のお年寄りが交流を深める「ふれあい交流会」が8月4日、同施設の遊戯室で行われました。

一輪車クラブの児童が日ごろから練習している演技を披露。そのお礼にと、ふれあいホーム「笛吹き園」に参加している佐々木ヒサさんが小唄を披露しました。子どもたちは初めて聞く唄に興味津々。「もう一曲聞きたい」というアンコールの声に佐々木さんは笑顔で応えていました。



佐々木ヒサさんの小唄に聞き入る子どもたち



将来のふるさについて意見を出し合う児童たち

### ◆郷土の将来を語り合う

青森県八戸市、七戸町との児童交流事業二十周年を記念した「平成・南部藩寺子屋会議」は七月二十六日開かれ、三市町の児童九十五人が交流を深めました。

会議では「十年後のふるさとを考えたよ」をテーマに、それぞれの郷土のお国自慢を発表したり、グループに分かれて▽ふるさとについて▽未来のために今できること▽大切にしたいこと―について意見交換をしたりしました。

「平成・南部藩」は、南部氏にゆかりのある全国の九つの自治体が今年二月に創設を宣言。交流事業のほか、共通ホームページを立ち上げ情報を発信しています。



大出小の児童による早池峰神楽を鑑賞する「夏の学校」の参加者

### ◆伊豆と遠野の懸け橋交流

静岡県熱海市などの生徒ら十九人が、七月三十一日から八月四日まで当市を訪れ、自然体験や交流を通じて熱海と遠野のかかわりに理解を深めました。

これは、熱海市の伊豆山出身で遠野の来内に住んでいた猟師・始関藤蔵が大同元(八〇六)年に開いた早池峰山の開山千二百年を記念し、伊豆・早池峰子ども交流実行委員会(立花靖弘代表)が企画。「早池峰夏の学校」と銘打ち、乗馬体験や早池峰登山、大出小中の児童生徒らとの交流を行いました。

来年一月には、大出小児童生徒三人が熱海市の初島を訪れ、交流を行う予定です。

### ◆真夏の一夜を楽しむ

第十三回遠野まぬけ節全国フェスティバル(同実行委主催)は八月五日、遠野駅前通りで開かれ、十五団体、約千二百人の市民らが趣向を凝らした衣装に身を包みユーモラスな踊りを披露しました。

市内の保育園児によるかわいらしい「こどもまぬけ節パレード」で幕開け。「まぬけ踊り」は橋から落ちた橋の下にもまぬけ節の歌に合わせて競演会の大群舞が始まると、色とりどりの衣装の踊り手たちがにぎやかな祭りを楽しみました。今年も宮守町からも一団体が参加し、会場を盛り上げました。

まぬけ節大賞には、遠野ふるさと公社が選ばれました。



まぬけ節大賞に選ばれた遠野ふるさと公社の皆さん

### ◆夏の思い出を満喫

2006柏木平リバーサイドまつり(同実行委主催)は七月三十日、柏木平河川特設会場が開かれ、市内外から訪れた夏休み中の子どもたちやその家族らでにぎわいました。

ステージではスイカやジュースの早食い・早飲み大会やウナギの早つかみ大会など多彩な催しが繰り広げられ、大きなスイカに懸命にかぶりついたり、必死にウナギを捕まえたりする姿に会場から大きな笑いが起っていました。

河川敷に設けられた池では二ジマスのかみ捕り大会が行われ、子どもたちが水浸しになりながら魚の群れを追っていました。



手からすり抜けるウナギに悪戦苦闘する子ども



本田敏秋市長から花束を受け取る沼里ヨリさん

### ◆農業に励み元気に100歳

八月十二日に百歳の誕生日を迎えた沼里ヨリさんへ、市からお祝いの記念品が贈られました。

八月二十二日、沼里さんが入所する老人保健施設とおのを本田敏秋市長が訪れ、家族や施設の皆さんが見守る中「これからも元気で長生きしてください」と激励し、記念品の黒二ツ引たんすと花束を手渡しました。

沼里さんは明治三十九年、附馬牛町生まれ。結婚後は、農業を手伝いながら五人の子どもを育てました。手先が器用な沼里さんは縫い物が趣味で、九十歳ころまで着物やコースターなどの敷き物を作っていたそうです。



沿道の景色を楽しみながらペダルをこぐ参加者

### ◆爽快サマーサイクリング

自転車歩行者専用道路「猿ヶ石さくらロード」を利用したサマーサイクリングは七月三十日に行われ、市民ら約百七十人がさわやかな風を受けながらサイクリングを楽しみました。

午前九時に大工町の浄化センターを出発。参加者らは、宮守町のコテージランドかしわぎまでの約18きの区間を、思い思いのペースでペダルをこぎました。ゴール後にはジンギスカンを食べながら、鍋を囲んで交流を深めました。

家族で参加した佐々木悠大君(遠野北小二年)は「疲れたけど、橋からの眺めも良くて楽しかった」と笑顔を見せていました。